

柏レイソルの巻

J1復帰2年目となった今シーズンの柏レイソルは、目下(7月現在)、リーグの上位に位置する好成績をあげています。

北京五輪の代表メンバーに選ばれた李忠成選手をはじめ、若い選手が多いのが柏レイソルの特長です。しかし若い選手は好調な時は良いのですが、怪我な

どのアクシデントに見舞われると、たちまちスランプに陥るといった精神的な弱さが現われがちです。

そうした心身両面にわたる選手のサポートをするために、柏レイソルは5名のメディカルスタッフを配置して健康管理を行なっています。



©KASHIWA REYSOL

メディカルスタッフの一人である酒井大輔さんは、高校卒業後に8年間アメリカでトレーナーとして学業(大学院)と実践を積んできました。トレーナーを志望した動機は「中学生の時にサッカーで怪我をし、その治療の結果、復帰できた経験から、怪我で苦しんでいる人を救いたいと思うようになった」からとか。ちなみに、酒井さんは八千代高校のサッカー部出身です。

「選手の健康管理という面では、特に怪我の予防を重視しています。そのための筋トレやストレッチについては、基本的な点は指導をしますが、大事なものは誰かに言われてやるのではなく、自ら進んでやる姿勢です。監督が求めているサッカーは厳しく、基礎体力の向上が必要で、若い選手が多いだけに、フイジカルコーチと我々メディカルスタッフのサポート次第で、チーム力はまだまだ向上すると思っています」

怪我をした選手に対して、酒井さんは主にリハビリ運動療法を施します。怪我の程度や部位

酒井大輔 メディカルスタッフ



©KASHIWA REYSOL

◆J1リーグ戦 (ホームゲームスケジュール)

節・試合日	時間	場所	対戦相手	チケット発売日
23節 8月28日(木)	19時	日立柏	FC東京	7月20日
25節 9月20日(土)	15時	日立柏	鹿島 アントラーズ	7月20日
27節 9月27日(土)	19時	国立	川崎 フロンターレ	9月6日
30節 10月25日(土)	15時	日立柏	横浜 F・マリノス	9月6日
31節 11月8日(土)	14時	日立柏	名古屋 グランパス	9月6日
33節 11月29日(土)	16時	日立柏	大分 トリニータ	9月6日

◆チケット購入方法

① インターネット販売

ローチケ.com(ローソンチケット)
<http://l-tike.com/>

※携帯電話(iモード、EZweb、Yahoo!ケータイ)からも購入可能。
会員登録が必要(一部有料)。
(24時間購入可能/発売初日10時~)

② コンビニエンスストア

ローソン店内「Loppi」操作

(24時間購入可能/Lコード必要/発売初日10時~)

③ 電話予約

ローソンチケット

0570-000-777 オペレーター対応
(10時~20時)

0570-084-033 Lコード予約

(24時間購入可能/Lコード必要/発売初日10時~)

④ 店頭販売

ローソンチケット取扱いプレイガイド

[Lコード一覧] ■リーグ戦

8月28日/FC東京	30706
9月20日/鹿島	30707
9月27日/川崎	30708
10月25日/横浜FM	30709
11月8日/名古屋	30921
11月29日/大分	30922

◆チケットに関する問合せ先

(株)日立柏レイソルチケットグループ

☎ 04-7162-2250 10時~18時(日・月定休)

<柏レイソル公式サイト>

<http://www.reysol.co.jp>

<オフィシャルファンクラブ「アソシエイツ」事務局>

TEL:0120-266765

10時~17時(日・月定休)

愛読者プレゼント!

- ① 試合チケット
- ② レイソルグッズ
- ③ 北嶋選手のサイン色紙

※応募方法は21ページをご覧ください。



きた しま ひで あき

北嶋 秀朗 選手(FW)

1978年生まれ。市立船橋高校から97年加入、清水エスパルス(03~05年)に移籍後、06年に復帰。プレーだけでなく精神的にもチームを強く牽引する存在。

©KASHIWA REYSOL

によつては、数名いるチームドクターに相談をして治療をしてもらいます。

「どのチームもそうだと思いますが、怪我をしていない選手はいません。我々メデイカリストは、痛みをそれ以上悪化させない、痛みをとってあげること、を日常のテーマとして仕事をしています」

怪我による故障を乗り越えて復活を果たしたのが、プロ12年目のフォワード(FW)北嶋秀朗選手。

「プロになってから膝を7回、肩を1回手術しました。開幕前もちよつと故障があったのですが、スタッフの皆さんのお陰で回復しています。基礎体力の向上が怪我の予防になる、ということを長年の経験から痛感しています。日常の健康管理としては、疲れないようにする、睡眠をよくとる、を心掛けています。この5月で30歳になりましたが、一試合でも多くピッチに立ち、勝利に貢献したい」と、北嶋選手は語ってくれました。